



独立行政法人国立病院機構

沖縄病院



〒901-2214

沖縄県宜野湾市我如古3丁目20番14号

TEL: 098(898)2121

FAX: 098(898)6433 (地域連携室直通)

2019年5月 NO.100 発行地域連携室

令和元年 院長あいさつ…『自主改革』



院長 川畑 勉

ぐすーよー、ちゅうがなびら(皆さん、こんにちは)。花々が咲き誇り、清々しいうりずんの季節となりました。皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当院の医療にご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

時代は平成から令和へと改元となり、医療界も地域包括ケアシステムの構築へと舵が切られ、当院も一般病棟を地域包括ケア病棟への変更を予定しており、新しい時代への一歩を踏み出した感があります。今年の当院の年度目標を『自主改革』にさせていただきました。時代が平成から令和へと変わる中、当院に求められる医療に出来るべく自らを変える時が来たと感じています。日常の医療・看護の提供において常に半歩先を予測し、

行動できる人になってほしいとの願いではなく、当院の職員にはそれを実現できる潜在能力が備わっており、各人が確固たる信念を持てば必ずや達成できると信じています(有志竟成-ゆうしきょうせい)。

さて、当院は今年、創立71年目を歩みだしました。結核が蔓延し、治療に窮していた創立当初の時代から、今では結核の入院患者数が一桁に減少するに至り、今月から一般病棟14床を加えたユニット病棟の運営に変更いたしましたことをご報告申し上げます。

また脳神経内科の診療においては平成24年に沖縄県から難病医療拠点病院に指定されて以来、患者数は上昇を続け、今後もさらに緩やかな上昇が予測されることから、時代のニーズに対応すべく神経難病病棟(南3)45床、筋ジストロフィー病棟(西1+西2)100床を常勤スタッフ8名と研修医が診療に携わっています。

肺癌診療においては、昨年(平成30年)、『肺がんセンター』を設立し、呼吸器内科・外科・放射線科・病理診断科の13名が力を合わせて、これまで以上の治療成績向上をめざして日々研鑽に努めています。治療に難渋する症例がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。地域住民の皆様におかれましては、肺癌早期発見のための『肺ドック』のご利用をお勧めします。新薬(分子標的治療薬・免疫チェックポイント阻害剤)の登場と手術手技の向上で肺がんの治療成績は格段に進歩していることを実感しています。

緩和医療科においてはエンドオブライフを平穏の下、送っていただけますように専門医と認定看護師をはじめとする全職員が一丸となって、質の高い医療と看護の提供に努めております。病棟見学はいつでもご案内させていただきますのでお気軽にお越しください。ここにご紹介申し上げました4つの『ブランド』に加え、消火器内科では、苦痛のない検査と消化器疾患の早期発見に実績を積み重ねています。整形外科領域では骨軟部腫瘍と転移性骨腫瘍に対する治療実績を積み重ねてまいりました。更なる向上に努めてまいります。今後とも皆様のご支援とご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

基本理念

患者さまの立場を尊重し
高度で良質の医療を提供します

運営方針

1. 政策医療を中心に、質の高い適切な医療サービスの提供
2. 患者様の視点に立った、あたたかく思いやりのある接遇
3. 健全な経営基盤の確立
4. 安心して療養に専念できる快適な環境
5. 臨床研究の活性化と臨床教育・研修機能の充実

GINOWAN CITY FM 81.8MHz
ぎのわんシティFM

毎週月曜日9時30分から当院職員による病気になる様々な情報をラジオ放送しております。当院HPにも放送内容を掲載しておりますのでご覧ください。



中部徳洲会病院 在宅・緩和ケア科



新屋 洋平 先生

所在地

北中城村アワセ土地区画整理事業地内 2 街区 1 番

◎受付・相談は中部徳洲会病院 地域連携室からお願いします。

沖縄病院と連携していただいている医療機関をご紹介します



皆さまこんにちは。新屋と申します。中部徳洲会病院在宅・緩和ケア科で主に訪問診療と往診を担当しており、また週に 2 回沖縄病院で緩和ケア外来をさせていただいています。

私は離島の小さな診療所と県立中部病院の地域診療科に勤務したあと、当科に昨年 2 月に着任しました。それから 1 年で 60 名を超える患者様に在宅医療を提供し、30 名近くを自宅や介護施設などでお看取りさせていただきました。

在宅医療の役割として、『退院支援』『療養支援』『急変対応』『看取り』が挙げられます。当科では、癌を始めとするつらい症状や病状の変化がある患者様に対し、主に病院と連携して自宅や施設への退院支援を行い、必要時には往診して看取りまで行うことに力を入れています。沖縄病院は週に 2 回来ていますので、特に緩和ケア病棟入院中の患者様の退院支援をスムーズに行うことができ、大変ありがたく感謝しています。

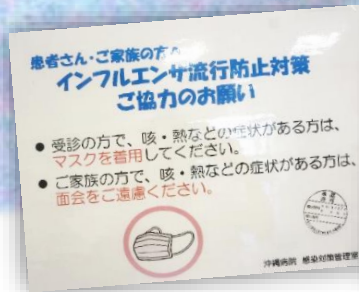
今後も地域の皆さまのお役に立てるよう、沖縄病院と連携を深め、皆さまが望む療養生活を支援することができるように頑張っていきたいと思っております。



感染管理認定看護師 竹田 美智枝

今年度、同時期に複数の職員がインフルエンザに罹患し、発症後にインフルエンザと気づかず勤務し、患者へタミフルの予防投与を実施する事態となりました。

ICT（インエクシジョンコントロールチーム）が中心となり、インフルエンザウイルスの院内への持ち込み・拡散を防ぐため感染対策の強化をはかりました。対策としては、ポスターの掲示、職員全員サージカルマスクの装着、出勤・退庁時の健康チェック、また、面会者の健康チェックの実施、入院時・外泊帰棟時の症状の有無・周囲の状況・発症者との接触状況の確認を実施するようになりました。現在のところ患者への 2 次感染は確認されていません。引き続き対策の徹底に努めていきたいと思っております。



沖縄病院にキャリアラダー 教育を導入して

教育担当看護師長
大田 理美子



平成 29 年に国立病院機構はそれまでの経年別教育にかわり、教育体制をキャリアラダー教育へと変更しました。これは、来るべき 2025 年問題に備えて、看護師の臨床実践能力の開発だけでなく、管理的能力やエキスパートの育成を目的とした変更でした。

当院も平成 29 年度より準備を開始し、平成 30 年 4 月よりキャリアラダー教育を導入しました。準備は看護師長研究会の看護職員能力開発グループが担当し、平成 29 年 9 月から開始しました。平成 30 年度導入までに、平成 29 年度内に必要書類、能力評価表、教育プログラムの作成を済ませる必要がありました。しかしながら、基本とする看護職員能力開発プログラム「ACTy ver.2」の臨床能力評価の到達目標は標準的な記載であるため、沖縄病院オリジナルの到達度評価表の作成に 4 か月を費やしました。グループでの検討に行き詰った時に、「現場でやっている OJT に目を向けて作ってみてはどうか」との田崎部長の言葉にヒントを得て、レベル I の到達度評価表から作成していきました。その後も順調といい難いながらも、平成 30 年 4 月にはレベル申請者 207 人、うち 73 人が研修エントリーし、5 月からレベル別研修を開始しました。

このキャリアラダー導入までの過程と課題についてまとめ、平成 31 年 2 月 16 日の沖縄県看護研究学会学術集会でポスター発表しました。私は平成 31 年 3 月をもって教育担当師長を卒業し、4 月より熊本南病院で勤務します。今後は看護職員一人一人がキャリア開発できるように、沖縄病院にキャリアラダー教育が根付いていくことを期待しています。



看護実践講座

緩和認定看護師
奥間 かおり



ナース・プロクティショナーについて聞いたことはありますか。

ナース・プロクティショナーは、診療看護師と呼び、対象者に対して必要とされる診療行為を多職種と協働し効果的、タイムリーに実践できる能力を備えた看護師です。

人口減少を迎えた日本において看護職自らも質の高い効果的な医療・看護の体制が求められています。ナース・プロクティショナーは今後の医療・看護において、重要な人材です。

今回の看護実践講座は宮崎県にある都城医療センターより、ナース・プロクティショナーとして活躍している原田由紀子先生に「NP(ナース・プロクティショナー)の役割と活動の実際」を講演して頂きました。

医師や看護師など多職種の参加がありました。看護師だからこそ気づけることや、その気付きを臨床に活かせることなどナース・プロクティショナーの活動や役割について理解を深めることができました。



事業所紹介

みなさんはじめまして！一般社団法人ふたふぁです。今回、沖縄病院旧北病棟(5階病棟)活用事業の入札応募し、めでたく当事業所が決定されましたこと、職員一同、感謝申し上げます。

今回は当事業所の事業所説明をさせていただきます。平成22年10月、中城村南上原に開設し、今年度で9年になります。訪問看護事業を軸とし、ケアマネ事業(居宅介護支援事業)、ヘルパー事業(訪問介護事業)を展開しています。職員は現在16人で、訪問看護8人(内1人作業療法士)、ケアマネ3人、ヘルパー4人と代表理事1人の構成です。

職員が幸せで楽しく仕事をするのができ、その職員がお客様にサービスを提供することでお客様やご家族、地域にも幸福の輪が広がるようにと考え、日々邁進しています。

法人の名称の”ふたふぁ”とは、どういう意味？とよく質問されますのでご説明します。ふたふぁとは琉歌に中の揚田節の1節からとりました。

【ふたふぁから”んじてい”いくとうしがふいたら岩をだちまちめむていちゅらさ】

松の葉は若葉から2葉で枯れて地に落ちて上から踏まれても、2葉のままで常に1対となっています。当法人ふたふぁもそのような強い絆で元気な時から、介護や医療が必要な状態になっても利用者様と松の葉のような1対の関係を持てる企業でありたいと思い、名付けました。この説明でふたふぁが向かう方向を理解していただけたらと思います。



事業内容は、訪問看護事業は医師の指示書にて、看護師が在宅にて、医療ケアや看護行為を行います。医療保険、介護保険が利用でき、利用者さんの年齢も制限はありません。難病の疾患や心臓疾患、ターミナルケアの看取りも行います。最近は医療ケア児も訪問しています。悩む事もありますが、やりがいのある仕事です。みんな、元気に笑顔で訪問しています。次は、ケアマネ事業です。ケアマネジャーが介護保険でサービスの提案、計画を行い、利用者さんが在宅で過ごしやすい生活が継続して、過ごせるように関わります。最近は、医療ケアのある方のケースが多く、医師や看護師、との連絡調整を密にしなければならない計画が多いので、医療の事も理解を深めなければなりません。毎月モニタリングで自宅訪問し、在宅でゆったり穏やかに過ごしている様子を見ることが、最高にうれしいですね。最後にヘルパー事業ですが、在宅で生活に基盤の排泄やお風呂食事、洗濯など多岐にわたる内容です。法律が改定し、時間が短縮される中、どうしたら、これまで通りのサービスが維持できるか、検討しながら、生活を支える大事な仕事です。



この3事業を、全力で頑張っています！！簡単ではありますが、ふたふぁの説明でした。

今回、このように広い場所と病院との連携が取りやすい環境で事業展開できることは、幸運と言うしかありません。その幸運を返謝できるように、ふたふぁが出来る、在宅を支える事業をこれまで以上に拡大し、地域貢献をしっかりとしていきます。また、沖縄病院から退院される患者さまが在宅で安心して過ごせる環境設定のご提案や、訪問看護での病院と在宅の連携サポートを誠心誠意していきたいと思っております。

これからよろしく願います。

一般社団法人ふたふぁ 代表理事 新垣絹子

基本理念

患者さまの立場を尊重し
高度で良質の医療を提供します

運営方針

1. 政策医療を中心に、質の高い適切な医療サービスの提供
2. 患者様の視点に立った、あたたかく思いやりのある接遇
3. 健全な経営基盤の確立
4. 安心して療養に専念できる快適な環境
5. 臨床研究の活性化と臨床教育・研修機能の充実



GINOWAN CITY FM 81.8MHz
ぎのわんシティFM

毎週月曜日9時30分から当院職員による病気に関する様々な情報をラジオ放送しております。当院HPにも放送内容を掲載しておりますのでご覧ください。